

特別養護老人ホーム上北沢ホームの看取り介護 ～終末期支援は生きる力の支援～

世田谷区立特別養護老人ホーム上北沢ホーム
サービス係相談員業務主任 佐賀勝之

1 はじめに

特別養護老人ホーム上北沢では、平成18年度に「看取り介護指針」を策定し、また、独自に作成した「上北沢ホーム看取り介護に関するガイドライン」に基づき、看取り介護に取り組んでいる。

上北沢ホームの看取り介護は、「生きる力の支援」と呼び、個別ケアの一環として実施している。命尽きる瞬間まで、入所者本人の希望や欲求等の意思、生活信条等を最大限に尊重し、本人の尊厳を守ることを支援の根幹としている。

発表では、「生きる力の支援」の報告を通して、終末期支援における生活施設での介護の役割について考察する。

2 終末期における生きる力の支援とは

- ・終末期にあっても、ひきつづき、本人の希望や欲求等の意思、生活信条等を、生きる力の源として尊重し、それに応えていくこと。
- ・入所当日から継続して行う「生きる力の支援」をひきつづき実施していくこと。
- ・本人が大切にしていること、好きなことを引き出せる情報収集力が求められること。
- ・家族の意向を尊重し支援することは、本人への支援につながる。

3 手法

- ・チームケア（介護、医師、看護、機能訓練、栄養士、相談員、歯科衛生士等）
- ・ケアプラン（通称「ハートプラン」）に基づくサービス提供
- ・本人及び家族の意思の尊重
- ・こまめなカンファレンス
- ・医師の判断、説明

4 プロセス

- ・入所当日から看取り介護終結まで 「看取り介護に関するガイドライン」
- ・看取り後の家族への支援 組織化・ボランティア受け入れ等
- ・職員へのフォロー体制 「振り返りの会」等

5 課題

- ・サービスの質の向上
- ・生活環境の整備
- ・介護と医療の連携

6 考察

終末期支援における生活施設での介護の役割について